

## 「好きな本年表」をつくろう

### 本プログラムのねらい

- ◎「好きな本年表」づくりを通して、自分や子供の成長を改めて実感することができる。
- 今後の本との関わり方について、家族で考える機会を持つことができる。

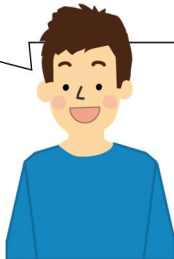
### 期待される効果

- 本の良さや魅力について、子供とゆっくり話したいと願う保護者にとって、家族の成長を実感することができるようになる。

### 活動の様子

年表に従って、親と子が好きだった本を書き入れ、感想を交流する。

自分が子供の頃に面白いと思って読んでいた本を、息子も夢中になって読んでいたなあ。



うちの子が入学前に読んでいた本って、どんな本だったかな。



よその家庭での家族の読書経験を聞くと、知らなかった本もあって、読んでみたくなったわ。



#### 【準備物等】

- ワークシート
- ※参加者の子供の年齢に合わせて修正しておく。

### 主な流れ

- 1 年表に従って、保護者の欄には保護者自身がその当時好きだった本を、子供の欄には子供自身が好きだった本を年代ごとに書き入れる。
- 2 (3～4人グループで) 参加者同士が作成した年表を見せ合いながら、家族で好きだった本などについて感想を交流する。  
※お互いの紹介を聞いて、本についての質問などをして感想を交流する。
- 3 (時間があれば) グループごとに、どのような感想を交流し合ったかを発表する。  
※発表させる際、進行役は、「この本を読んだことのある方は？」など、発表内容を共感的に聞くことができるような声かけをする。
- (4 家に帰って、「好きな本年表」をはさんで、子供と話し合う。)

### 運営上の留意点

連続講座での実施をおすすめします。

連続講座であれば、事前に各家庭で相談しながら「好きな本年表」を作っておき、完成した年表を持ち寄って、「どんな会話をしながら作成したか」や「作ってみてどうだったか」などについて感想を交流し合うこともできます。